福岡日伊協会主催

第225回イタリア映画鑑賞会

associazione italo - giapponese di fukuoka

入場無料

■日　　時：2027 年 1 月 8 日(金)18:00 開場/18:30 開演（20:00 頃終演予定）
■会　　場：あじびホール
（福岡市博多区下川端町 3-1 福岡アジア美術館 8 階／TEL 092-263-1100）
■入 場 料：入場無料／先着 100 名様
※事前申込は不要です。直接会場へお越しください。なお、定員(100 名)になり次第、締め切らせていただきます。
※やむを得ず、急遽上映作品の変更や鑑賞会を中止にする場合がございます。

第 225 回上映作品
『初聖体拝領(PRIMA COMUNIONE)』
(1950 年 78 分　イタリア語/日本語字幕)

監　　督／ アレッサンドロ・ブラゼッティ
脚　　本／ アレッサンドロ・ブラゼッティ
チェーザレ・ザヴァッティーニ
スーゾ・チェッキ・ダミーコ
音　　楽／ アレッサンドロ・チコニーニ
撮　　影／ マリオ・クラヴェリ
出　　演／ アルド・ファブリッツィ
ギャビー・モルレー

2027 年最初の作品です。
1930 年代から戦前・戦中・戦後とファシズム時代からネオレアリズモと、イタリア映画界をトップで支え、「イタリア映画の父」と言われたアレッサンドロ・ブラゼッティ監督作品。
日本では『雲の中の散歩』(1942 年作)がネオレアリズモの最初の１本と言われて、R・ヴィスコンティ監督の『ベリッシマ』(1951 年作)は、実名でブラゼッティ監督の新作の為に子役の少女が公募され、その母親達の右往左往が描かれ、本人も監督として登場し、これを観たらイタリアで大監督だとわかる。

ワンマンで頑固な洋菓子店オーナーの８歳の愛娘が復活祭(【英】イースター【伊】パスクア)の日に初聖体拝領を受ける日の朝、ドレスが届かず、そのドレスの為に父親が街中で騒動を起すドタバタ喜劇なのだが、少し目線を変えると、ファシズムから５年が経ち、威張り散らしていた男達の末路のようにも見える。さすがファシズムの時代にプロパガンダ作品ですら人情ものにしてしまう監督の皮肉が込められている。主演に喜劇俳優のアルド・ファブリッツィ。この人はロッセリーニの「無防備都市」(1945 年作)でドイツ軍に処刑される神父役がある。只者ではない。お楽しみに。

(解説 湯越 勘一)

《お問合せ先》　福岡日伊協会　事務局　渡・古賀・井口
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-1-1　西日本シティビル内
TEL: 092-476-2153 / FAX: 092-476-2634
E-mail: aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp